

世界で初めてドローン専用エンジンを開発 工場の稼働状況の見える化で効率化を推進

精密機械部品の加工会社として創立し、現在は工業団地「SIA神奈川」内に本社を置く。切削加工が得意で、当初は売上高の8割を半導体部品が占めていたが、リーマンショックによる業績悪化を契機に高度な加工技術を要求されるロボット、航空機、医療機器に転換した。多品種小ロットに特化し、高品質の製品を徹底的な自動化や量産システムにより短納期で提供している。2015年には無人航空機用エンジンの事業譲渡を受け、UAVのエンジン製造に着手、航空・宇宙産業で活躍している。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 神奈川県相模原市南区大野台4丁目1番54号 | ● 設立 | 1980年 |
| ● 電話/FAX | 042-751-9095 / 042-755-9533 | ● 資本金 | 1,000万円 |
| ● URL | http://www.kobasei.com | ● 従業員数 | 24人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 小林 昌純 | | |



生産性向上

世界で初めて、ドローン専用エンジンの開発・販売を実現

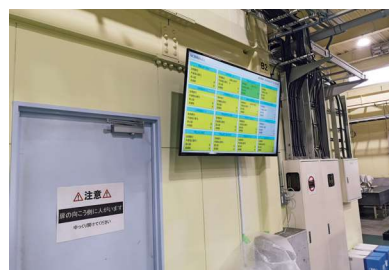
同社は、2015年に無人航空機のエンジン事業の譲渡を受けたことを機にドローン専用エンジン製造に着手した。同じところに滞空するために空冷されにくいドローン特有の問題を、小型で軽量の循環装置をつけることにより解決した。この仕組みを開発したのは同社が世界初である。この結果、長時間飛行が可能となり、農業や災害対策用途等ドローンの活用範囲の広がりに寄与した。国内メーカーから注文があるほか、ドローンの一大市場である米国においても技術が認められ、販売に至っている。



ドローン専用エンジン(プロトタイプ版)

工場内の機械設備の稼働状況の見える化で効率化を推進

工場内の機械設備の稼働状況を「見える化」するシステムを構築している。従来はメーカーごと、機械の新旧により機械設備のデータの仕様が異なり、作業の進捗や機械の空き状況は現場に行かなければ把握できなかったが、一元管理により製造進捗スケジュールを現場と管理部で共有し、顧客対応もスムーズに遂行が可能になった。稼働状況に応じ、空き間時間を生産時間に充てられるようにして業務の効率化を図っている。各データはすべて自社の生産管理システムに組み込み、生産から販売に至るまで見える化している。



稼働状況を見える化している工場

働き方改革による低離職率と学校と連携した採用の取組

従業員の技術の高度化と生産の自動化によって従業員が有給休暇を取りやすい環境を整備した。有給休暇100%消化を目指して、休暇取得を積極的に奨励し、社員の生活に合わせた休暇の取得でワークライフバランスを実現し、その結果、3年連続離職者ゼロを実現した。また、工業系の学校に出向いて人材募集も行っており、3年連続新卒採用を達成している。今年4月からは初の障害者雇用をスタートする。3回のインターンシップを通じて資質を見極め、今回正社員として採用することを決定した。



集合研修のワークショップ

ものづくり